

ディプロマ・ポリシー			カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
1. 情報活用力	1-1	コンピュータ等のICT機器を活用して、適切な表現・方法で、情報を生成・加工・分析・伝達するための基本的な知識・技術を習得している。	<p>本学科ではディプロマ・ポリシーを達成するために、次のような文理融合型の特色を活かし、「情報」を軸にしながら幅広い分野の知識や技能を修得できるという方針に基づき、カリキュラムを編成します。</p> <p>カリキュラムの構成は、講義・実技を中心に知識・技能を習得し活用力を高める専門科目群と、主体性を養い、思考力・行動力を身につける実践的演習科目群を並立させ、相互にバランスよく補完させることによって、単なる机上の知識・技能ではなく実際の問題解決に活かせる生きた知識・技能を学生が習得できるように工夫します。</p> <p>専門科目群は、主に下記の3つの分野で構成します。</p>	<p>本学科が掲げる目的に応じて、透明性の高い公正な入学者の選抜試験を複数の機会や方法で行います。</p> <p>本学科が求める学生像と高等学校で履修すべき科目・資格とその程度は、次のとおりです。</p> <p>「立学の精神」や学科の目的に賛同し、情報やマルチメディアの知識・技能を活かして情報化社会の健全な発展に貢献したいという意欲を持っている人物を求めています。</p> <p>具体的には次のような目標を持つ人を歓迎します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あふれる情報に振り回されず情報の真の価値を判断する力を身につけたい。 ・生活への深い洞察力と多様なメディアを使いこなす技能を習得したい。 ・自分の個性を大切に、クリエイティブな人生を実現したい。 ・幅広い教養と豊かな感性を身につけ、社会に貢献したい。 <p>そのため、本学科では、講義形式の授業だけでなく、アクティブラーニングやPBL型授業など教員と学生、学生と学生など相互の議論や協働を主体とした授業も多数用意しており、学生はあらゆる場面で知識を活用し思考する力を問われます。したがって、入学前に、文系・理系という狭い枠にとらわれず、情報科はもとより、国語、英語、地理歴史、公民のほか、数学、物理、化学、生物といった科目をできる限り幅広く履修し、確かな基礎知識を備えておくことが望まれます。この基礎知識は、入学後の専門分野の授業の内容を理解するためにも重要です。</p> <p>必ずしも自分の将来が決まっている必要はありません。4年間の学びの中で、自己を見つめ、考え、自分の人生を設計していければ十分です。しかし、それができるためには、入学後何をすべきかということについて明確な目的意識を持っていなければなりません。授業の履修だけでなく、あらゆる機会を学びの場と捉え、さまざまな課外活動にも主体的に取り組む積極的な姿勢を持つ女性を求めています。</p>
	1-2	情報を的確に分析して、事物の本質を理解できる思考力を習得している。	<p>「情報力教育科目群」</p> <p>ICT機器を操作して情報を利活用する能力を高めることを目的に、コンピュータ、プログラミング、ネットワーク、マルチメディアなどに関連する科目を用意します。</p>	
	1-3	自己を適切に表現でき、他者や社会と良好な関係を築ける態度を習得している。	<p>「生活力教育科目群」</p> <p>衣・食・住を基本とした人間の生活と情報化社会との関わりを理解することを目的に、感性を磨きながら、生活全般を編集・設計・演出する力を養うための科目を用意します。</p>	
2. 生活行動力	2-1	豊かな感性と幅広い教養を身につけ、生活の中で、時代の流れを洞察して最適な選択を行える行動力を身につけている。	<p>「社会力教育科目群」</p> <p>グローバル化が進展する中、生涯に亘って社会の一員として自分のキャリアを形成し、自己実現を図ることができるよう、ビジネス全般を理解するための基礎科目や演習科目に加え、社会課題の認識とその解決に向けた対応力を身に付けるための科目を用意します。</p>	
	2-2	情報を的確に捉え、変化するライフ・ステージに生涯に亘って適応できる態度を習得している。		
3. 社会共創力	3-1	社会の仕組みを理解し、社会的な課題の解決に主体的に参加し、他者との協働を通じて、社会の発展に貢献する態度を習得している。		
	3-2	生涯に亘って自分のキャリアを開拓していく意欲と向上心を身につけている。		